

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：比較認知科学実習 - 霊長類の行動・認知を探る ILAS Seminar: Introduction to Comparative Cognition - Exploring Behavior and Cognition in Primates			担当者所属 職名・氏名	ヒト行動進化研究センター 准教授 足立 幾磨 ヒト行動進化研究センター 助教 服部 裕子		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 前期集中(夏季 休業中)8月の 火・水・木・金 を予定	教室	ヒト行動進化研究センター(犬 山キャンパス)			使用言語	日本語及び英語
キーワード	霊長類 / チンパンジー / 比較認知科学 / 実習						
[授業の概要・目的]							
愛知県犬山市にあるヒト行動進化研究センターにおいて、チンパンジーなどの認知実験や行動観察に参加する。実際に行われている認知研究の現場に参加することで、チンパンジーをはじめとする霊長類について深く知るとともに、そうした体験を通して比較認知科学の手法とこころの進化的基盤についての知識を深める。研究する側の日常と、研究される側の日常の姿を見せたい。							
[到達目標]							
タッチパネルを用いた認知課題、アイトラッカーやサーモグラフィ等の機器を用いた行動や生理反応を実際に体験することにより、比較認知科学で用いられている基本的な手法を学ぶ。チンパンジーを始めとした霊長類の認知研究の場に参与し、現場での質疑や議論を通じて、こころの進化に関する実証研究(比較認知科学研究)の面白さを体感する。							
[授業計画と内容]							
ヒト行動進化研究センターで4日間の集中実習をおこなう(研究センターの宿泊施設に宿泊可)。時期は8月中を予定するが、参加者の希望を聴取し、相談のうえで決定する。 ヒト行動進化研究センターの教員・研究員・大学院生が行っているチンパンジーを対象とした比較認知科学の研究などに参加して、チンパンジーの実際の行動を観察し、コンピュータを操作して実験データを収集する。							
・タッチパネルを用いた認知課題 認知能力の様々な側面を調べるために、タッチパネルを用いた選択課題や弁別課題が用いられてきた。実際に、大学院生や研究員がタッチパネルを用いて取り組んでいる実験を観察し、また実際に体験する。 ・社会集団でのインタラクションや社会交渉の観察 チンパンジーは高い社会性をもつ。飼育下でも集団で生活する中で、日常的に様々なインタラクションや社会交渉が観察される。それぞれの個体を識別したうえで、こういった社会交渉が行われているのか、観察しその分析を行う。 ・飼育環境エンリッチメント 野生チンパンジーの社会・生態および自然環境保護について学ぶとともに、そうした知見がどのようにエンリッチメントに生かされているのかを、飼育現場を観察することで考察する。							
ILASセミナー：比較認知科学実習 - 霊長類の行動・認知を探る(2)へ続く...							

・こころの進化に関するセミナー

大学院生・研究員による研究発表やそのディスカッションに参加する。セミナーは基本的に英語で行う予定である。

犬山での集中実習は全日程参加を条件とする。最終日には、得られた成果や知識をもとに、霊長類におけるこころの進化について考察する。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

実習についてのレポート（A4サイズ）の提出。
実習への取り組みと、そのレポートをもとに成績評価する。
詳細は実習中に説明する。
なお、実習が8月のため、成績報告が遅れる可能性がある。

【教科書】

『日本のサル学のあした—霊長類研究という「人間学」の可能性』（京都通信社）

【参考書等】

（参考書）
友永雅己・田中正之・松沢哲郎『チンパンジーの認知と行動の発達』（京都大学学術出版会）
『動物たちは何を考えている？-動物心理学の挑戦-』（技術評論社）
京都大学霊長類研究所(編)『新しい霊長類学』（講談社ブルーバックス）
京都大学霊長類研究所『新・霊長類学のすすめ(京大人気講義シリーズ)』（丸善出版）

（関連URL）

<https://ikumaadachi.wixsite.com/primate-cognition-la>

【授業外学修（予習・復習）等】

特別な予備知識は必要としない。ただし、参考書についても目を通しておくことが望ましい。

【その他（オフィスアワー等）】

健康診断書の写し(特にX線胸部間接撮影の所見)を持参すること。交通費と宿泊費は本人負担とする。
なお、交通費は、新幹線利用の場合、片道7000円弱、宿泊費は、研究所併設の宿泊施設利用の場合、三泊で3090円。
学生教育研究災害傷害保険に各自加入しておくこと。

【主要授業科目（学部・学科名）】